

校区教育協働委員会で提案された「フラン」が 具体的な「取組」へ!

大井第一小学校でビブリオバトルの授業が実施されました。



児童に説明をする佐々木先生

自分の意見を相手に分かりやすく伝えるのが児童の課題です。何か良い案はありますか。

ビブリオバトルは
いかかですか。

面白そうですね。

是非、子どもたちに教えて
いただけませんか

やってみましょう!プレゼンテーション能力が高まるとともに、読書への興味・関心も高まりますよ。

本にも親しむ機会になりますね。

学校と調整します。

<校区教育協働委員会にて>



9月6日(金)の図書委員会活動時に行われた「ビブリオバトル」。授業をしていただいたのは明海大学教授佐々木文彦先生、校区教育協働委員会の委員長です。

「チャンプ本」に選ばれたのは「電車で行こう」。選ばれた児童は「話すことが苦手だったけれど、選ばれてうれしかった」と感想を述べていました。好きな本だから話す、選ばれたから分かりやすく話そうとする。言葉の巧みさだけでなく、伝えたいという熱量で戦う様子がうかがえました。今後は授業へ拡大していく予定で、児童はより力を高めていくことでしょう。

このように、学校の課題解決のために必要な学校支援を企画することは、校区教育協働委員会の役割の一つです。今回は校区教育協働委員会での企画が実現された例を紹介しました。



ビブリオバトルの様子

<校区教育協働委員会って?>

予測することが困難な時代、変化の激しい社会を子どもたちが生き抜いていくために、「学校」は「保護者」は「地域」はどのようなことに取り組んでいけばよいのでしょうか。

そのような課題を共有し、校長とともに考える場が「校区教育協働委員会」です。

<どのような人が委員なの?>

大学教授などの学識経験者を委員長とし、「校長」「卒業生」「保護者」「地域や企業、諸団体で活動されている方」弁護士などの「専門職」子どもたちを中心に連携する「関係諸機関の職員」そして、「学校地域コーディネーター」など多様な方々で構成されています。

学校支援地域本部の活動の紹介

荏原平塚学園
学校支援地域本部

できる人が できる時に できる事を ～ボランティアとwin-winの関係づくり～

荏原平塚学園学校支援地域本部のボランティアさんが活躍されている取り組みをご紹介します。

学校支援本部のQRコードです⇒



学校花壇ボランティア



- 除草作業
- 稲作（5年生）
- 品川かぶの育成（2年生）

茶道ボランティア

- 茶道教室（1～9年生）の授業のサポート
- 荏原茶屋（学校公開時）の実施・運営
- 大人の茶道教室の実施



- 定例会での情報交換
- 書庫整理、夏季蔵書点検
- 読書旬間の読み聞かせ（1～4年）
- メディアセンターのディスプレイ

- 自習教室の監督
- 算数復習タイムの丸付け
- 家庭科サポート
- プログラミング教室、理科実験教室
- 部活支援（茶道部・吹奏楽部等）



図書ボランティア

学校支援ボランティア

先生の声

地域に詳しいコーディネーターさんの力をお借りし、子どもたちが安心して学べる環境づくりに協力していただいています。

学校地域コーディネーター
高田さん&荒井さん



コーディネーターより

活動4年目となり、「学校花壇」「茶道」「図書」のボランティアはそれぞれがチームとして充実した活動を行っています。地域の方の参加も増えて、学校・保護者・地域のみんながwin-winになる活動を目指しています。

ボランティアさんの声

教育の現場に一步近付き、保護者として視野が広がりました。

今後の校区教育協働委員会

次のことについて協議・検討を行う予定です。

- 次年度の学校運営の基本方針について
- 次年度の教育支援活動についての企画・調整
- 次年度の区費教職員等の活用についての意見

ボランティア登録をお願いします



ボランティアが必要になった時に、お声かけします。無理のない範囲でご参加ください。

登録は随時受け付けております。活動を希望する学校の学校地域コーディネーターにお問い合わせください。



品川区教育委員会事務局 指導課 学校地域連携係

〒140-8715 東京都品川区広町 2-1-36 TEL: 03-5742-6595